

数字で見る 東洋水産グループ

2024年
3月末現在

会社概要

連結従業員数



国内グループ会社



創立年月



海外グループ会社



食品安全マネジメントシステム等取得状況

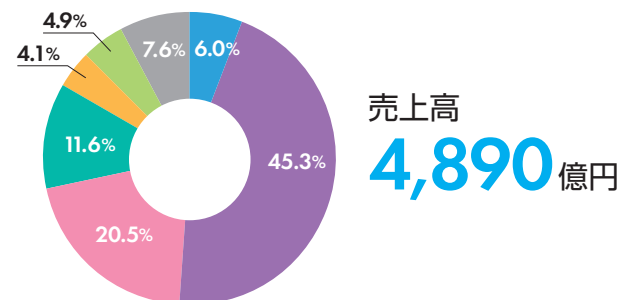
FSSC22000



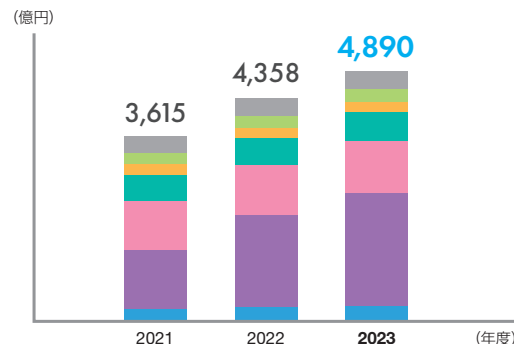
JFS-B など
FSSC22000以外



売上高構成比



連結売上高の推移



● 水産食品事業 ● 海外即席麺事業 ● 国内即席麺事業 ● 低温食品事業 ● 加工食品事業 ● 冷蔵事業 ● その他事業 (主に弁当・惣菜事業)

環境データ

(国内グループ全体)

CO₂ 排出量



産業廃棄物量



エネルギー使用量



水使用量

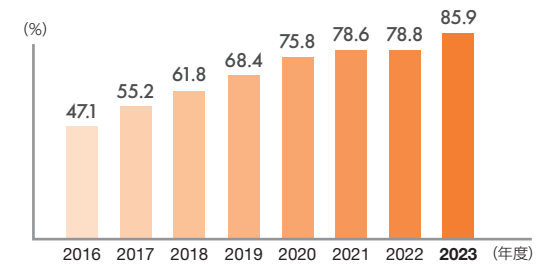


産業廃棄物の再資源化率



冷蔵倉庫のフロンから自然冷媒への代替率

2023年度まで
85.9%
(全庫腹量に対して)



2030年度東洋水産グループ環境目標

	2030年度目標	2023年度実績
CO ₂ 排出量 (原単位)	20% 削減	21.2% 削減
産業廃棄物 (原単位)	15% 削減	23.9% 削減
産業廃棄物の再資源化率	99.5% 以上の維持	99.9%
フロン漏洩量 (CO ₂ 換算)	85% 削減	56.3% 削減
水使用量 (原単位)	10% 削減	18.1% 削減
認証パーム油への代替	100%	83.0%
主要取扱魚種 (魚卵・鮭鱒・海老) のMSC等漁業認証原料取扱い	70%	78.2%

※対象は国内グループ全体 (ただし、認証パーム油への代替目標は国内外グループ全体)

※原単位は国内連結売上高を基準として算出

※基準年度は2018年度

※CO₂ 排出量算出の根拠

電力: 電気事業連合会 2009年度実績に基づく使用端CO₂ 排出原単位 (0.351kg-CO₂/kWh) を使用

電力以外: 温対法の換算係数を使用

使用冷媒: 環境省「フロン類算定漏えい量の算定・報告に用いる冷媒種類別 GWP 一覧」を使用